

2025年度（第2次） 神戸市外国語大学大学院入学試験
中国語学専攻
解答例・出題意図

<問題Ⅰ>

【解答例】

“文化”一词有多种含义和用法。普通人通常将这个词在某种意义上与文学、音乐和绘画等人类艺术活动联系在一起理解。许多人还会从“文化国家”“文化人”和“文化生活”等表述中，读出文化所含有的芬芳和高雅的气息。

不过，本书所说的文化，是指某一群所独有的、通过从父母到子女、从祖先到后代的学习而传承下来的特定的行为和思维模式（构成）。例如，日本人在提到自己时会用食指指着鼻尖。与此相反，许多西方人会用大拇指戳自己的胸口。这两种不同的行为模式表明了文化的差异。换句话说，所谓的文化，作为一个概念，指的是在支配人类行为的准则中除去本能和先天准则之外的剩余部分，即具有强烈的传承性和社会强制力（习俗）的部分。

其实，这一文化的定义也适用于人类的大部分语言活动。

人在出生时只会哭泣。但随着成长，他开始说话。他说哪种语言，如何说话，完全取决于他周围的人。

【出題意図】

日本語の文章を適切に中国語訳できるかどうかを測る。

<問題Ⅱ>

【解答例】

・語彙化

複数の形態素が合わされて一つの意味を持つになることで、複合語、慣用句、イディオムなどの形成がこれに当たる。例えば「鯖」、「読む」の本来の意味とは関係ない慣用句「鯖を読む」ができ、さらにこれから複合語「鯖読み」ができたことなど。「申し込む」「擦り寄る」などの複合動詞もこれに当たるが、「話し出す」「働きすぎる」などは、後の動詞が本来の意味が希薄になり文法化しているので、語彙化とは言えない。（194字）

・晋語

中国北方の山西省とそれに隣接する地域に分布する方言で、太原方言がその代表とされる。従来は官話方言（北方方言）の一部とされることもあったが、現在では官話からは独立した方言区と見なすべきであるという説が有力であり、中国語十大方言の一つに数えられる。その最大の特徴は、北方に分布する方言でありながら中古の入声韻尾が [-ʔ] として保

2025年度（第2次） 神戸市外国語大学大学院入学試験
中国語学専攻
解答例・出題意図

存されていることであり、他にも官話方言と大きく異なる古い語彙が多く残されている。

(199 字)

・莫言

中国の現代作家。山東省出身。1980 年代に『赤い高粱』が映画化されたことで世界に広く知られるようになる。その後、ミラン・クンデラら南米の作家に影響を受け、日常と非日常が融合する「マジックリアリズム」の手法で、中国の農村を幻想的かつ骨太に描いた諸作品を発表した。2012 年、民話・歴史・現代を融合させた業績により、中国籍の作家として初のノーベル文学賞を受賞した。他の代表的作品に、『豊乳肥臀』、『蛙鳴』などがある。(200 字)

・華夷秩序

中国の歴代王朝において、中国を基準として周辺の諸国と関係を定めた秩序のこと。その基盤となるのは、中国を「華」、周辺の諸国を「夷」と呼び、中国が世界の文明の中心であり、周辺の諸国を劣った存在とみなす中華思想である。これによれば、中国の皇帝は天命を受けた唯一の支配者であり、周辺の諸国は中国に朝貢する義務があると考えられた。また、周辺の諸国も中国にならい、それぞれを中心とする小さな華夷秩序をつくり上げた。(201 字)

・唐宋八大家

唐から北宋にかけての八人の文人、即ち唐の韓愈、柳宗元、北宋の欧陽脩、蘇洵、蘇軾、蘇轍、曾鞏、王安石を指す。韓愈はそれまで流行していた四六駢儷文の華美さを忌み、漢魏の古文を宗として、質朴かつその意を尊ぶべきだとする古文復興運動を興したが、これは儒学的文人観の復興でもあり、科举制度の発達とともに知識人たちのあいだに大いに流行した。古文復興の風潮のなかで、韓愈を筆頭とする名文家八人が称揚された。(196 字)

【出題意図】

中国語学・中国文学・中国文化に対する基礎的知識を有しているか、またそれを適切な日本語で要約して示せるかどうかを測る。

<問題Ⅲ>

【解答例】

一般的に、文字は言語よりも保守的であると言える。これは、人々が同時代の人々の話し言葉を聞くことはあっても、過去の時代の人々の話し言葉を聞くことができないからである。しかし、同時代の文字だけでなく、過去の時代の文字も見ることができ、過去の文字を模倣することもできるため、口語からは消えてしまった語彙や文法が、しばしば書き言葉には残ることになる。また、宗教的な経典や法律の条文など、権威を持つ特殊な著作については、その古い言葉や文を改変することが容易ではないという理由で、書き言葉の保守的な性質が強化される。優れた文学作品も同様の役割を果たす。文字の保守的な力が特に強く働く

2025年度（第2次） 神戸市外国語大学大学院入学試験
中国語学専攻
解答例・出題意図

場合、文字と言語が乖離する現象が生じることがある。中国、インド、アラブ諸国、古代ローマなどでも、このような状況が見られる。この場合、書き言葉と話し言葉の違いは単なるスタイルや文体の違いにとどまらず、言語そのものの違いとなる。しかし、文字が限られた少数の人々にしか使用されず、大多数が文盲である場合にのみ、このような状況は維持される。いったん文化が普及すると、この状況は必ず打破され、話し言葉に適応した新しい書き言葉が、古い書き言葉に取って代わることになる。

【出題意図】

現代中国語の文章を適切に日本語訳できるかどうかを測る。

<問題IV>

【解答例】

清河の崔基は、青州に住んでいた。朱氏の娘が世にもまれな美人だったので、崔は惚れ込んで家に招き、妾にすると約束した。その後真夜中に、突然外で門を叩く音がしたので、崔が着物を羽織って出てみると、娘が涙で頬を濡らし、しゃくり上げて言うには、「今しがた急病のために死んでしまったので、かわいがっていただくのも永遠におしまいだと思うと、悲しみに堪えません」と。娘は懷中から二疋の絹を取り出し、崔に渡して言った、「近頃この絹を自分で織り、あなたに着物を作って差し上げようと思ったのですが、裁縫する暇がありませんでした、いま形見として差し上げます」と。崔は錦八尺をお返しに贈った。娘は錦を受け取り、「これで永遠にお別れです!」と言い終わると、ぱっと姿を消した。

翌朝になり、娘の家で話をした。娘の父親が言うには、「娘は昨夜急に心臓が痛み、夜に亡くなりました」と。崔が言うには、「お宅では絹がなくなりましたか?」と。答えて言うには、「うちの娘が織った絹の残りが二疋、箱の中に入れてありました。娘が亡くなった時、妻がそれを取り出し、経帷子を縫おうとしていたところ、目を離した隙にどこかへ行っていました」と。崔はそこで事の成り行きを詳しく話した。

【出題意図】

古典中国語の文章を適切に日本語訳できるかどうかを測る。

<問題V>

【解答例】

今日もかつて、方言は地域間において体系上の違いがあったほか、ある特定の変種が広域にわたり高い通用度を有する場合があった点で、同様である。しかし方言は近代以降において、国家が人為的に定めた標準語とは異なる言語体系として、公的場面における使用が規範主義に基づく否定的反応を引き起こすものであるという点で、前近代における方言と異なっている。

2025年度（第2次） 神戸市外国語大学大学院入学試験
中国語学専攻
解答例・出題意図

【出題意図】

本文が提起する議論の中核となる部分の要約を課して英文の読解力を測るとともに、文章全体を適切に要約する日本語の表現力を測る。